「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

様式２

技術名称：支承リバイバルシステム

登録事業者：ダイクレ興産株式会社

①　技術概要・概要図

・本工法は特殊ノズルを使用し従来届かなった支承の狭隘部までしっかりとブラスト施工し高耐久皮膜を得る技術である
・従来は塗装による塗り替えだったものを金属溶射と常温亜鉛メッキ塗装する事で耐久性が向上しライフサイクルコストが削減される



②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和7年度
発注機関	広島県広島市
事業名	南1区比治山蟹屋線（大正橋）補修工事（7-1）
対象地	広島市
工　期	令和8年度2月
数　量	16

③　活用に至った現場条件や経緯

支承周囲が狭隘な現場であり、従来の工法では旧塗膜の除去が困難であった

④　活用効果（本事例における効果）

本工法では1日でその日の施工が完了する為、工程短縮と共に従来は狭隘の範囲は4種ケレンにて対応していたが特殊ノズルを使用することで、高い品質を確保することができた

⑤　活用状況写真



施工前



ブラスト後



金属溶射完了



施工完了